取扱説明書

ColorEdge®
CG232W

カラーマネージメント液晶モニター

重要

ご使用前には必ず使用上の注意、本取扱説明書および「セットアップマニュアル」をよくお読みになり、正しくお使いください。

・コンピュータとの接続から使いはじめるまでの基本説明については「セットアップマニュアル」をお読みください。
・最新の取扱説明書は、当社のホームページからダウンロードできます。
http://www.eizo.co.jp



この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。
また、製品の付属品（ケーブル含む）や当社が指定するオプション品を使用しない場合、基準に適合できない恐れがあります。

本装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

本装置は、高調電波電流を抑制する日本工業規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

1.本書の著作権は株式会社ナナオに帰属します。本書の一部あるいは全部を株式会社ナナオからの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

モニターについて

- 本製品は、文書作成やマルチメディアコンテンツの閲覧など一般的な用途の他、色の再現性を重視する映像制作、グラフィック制作やデジタルフォト加工の用途にも適しています。
- 本製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.
- 本書に記載されている用途以外での使用は保証外となる場合があります。
- 本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。
- 本製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。
- 製品内部の電気部品の動作が安定するまでに 30 分程度かかりますので、調整はモニターの電源を入れて 30 分以上経過してからおこなってください。
- 経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブライトネスを下げて使用されることをおすすめします。
- 同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、スクリーンセーバーやタイマー機能の活用をおすすめします。
- 本製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをおすすめします。(次ページ「クリーニングのしかた」参照)
- 液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。また、有効ドット数の割合は 99.9994% 以上です。
- 液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店またはエイゾーサポートにお問い合わせください。
- 液晶パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。(液晶パネルを押したあとが残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。)
- 液晶パネルを固いものや先の尖ったもの（ペン先、ピンセット）などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷がつく恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。
- 本製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

クリーニングのしかた

注意点

- 溶剤や薬品（シンナーやベンジン、ワックス、アルコール、その他研磨クリーナなど）は、キャビネットや液晶パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

[液晶パネル面]

- 汚れのふき取りにはコットンなどの柔らかい布や、レンズクリーナー紙のようなものをご使用ください。
- 落ちにくい汚れは、付属の「ScreenCleaner」をご利用いただくか、少量の水をしめらせた布でやさしくふき取ってください。ふき取り後、もう一度乾いた布でふいていただくと、よりきれいな仕上がりとなります。

[キャビネット]

- 柔らかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。（使用不可の洗剤については上記の注意点を参照してください。）

モニターを快適にご使用いただくために

- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休憩を取ってください。

もくじ

第 1 章 はじめに

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

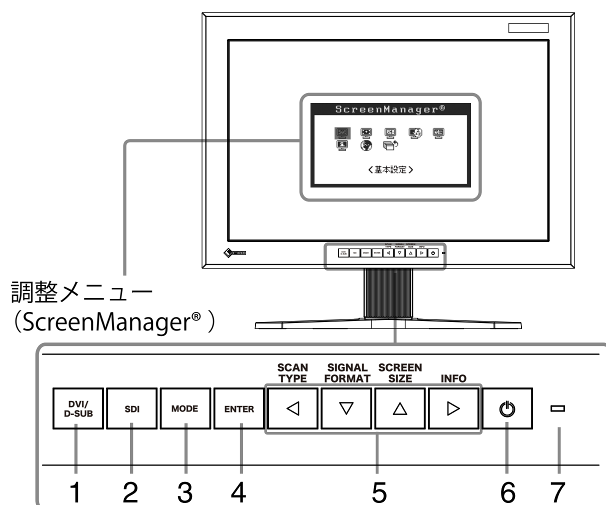
1-1. 特長

- 22.5 インチワイドフォーマット
- Adobe RGB カバー率 97%
- WUXGA(1920 × 1200）表示対応
- HDCP 対応
- SDI 信号入力対応（BNC：HD/SD-SDI × 2 または Dual Link SDI × 1）
  表示解像度： 2048 ドット × 1080 ライン対応
- SDI 信号出力対応（BNC × 2、ループスルー）
- DVI/D-SUB 信号入力対応（DVI-D × 1、D-SUB × 1）

水平周波数：	アナログ信号入力時	26 ～ 92kHz
	デジタル信号入力時	26 ～ 78kHz
垂直周波数：	アナログ信号入力時	23.8 ～ 86Hz
	デジタル信号入力時	23.8 ～ 61Hz（VGA TEXT 時 69 ～ 71Hz）
フレーム同期モード対応周波数		23.8 ～ 30.5Hz、47.5 ～ 61Hz

- カラーモード機能を搭載し、放送規格 [EBU/Rec709/SMPTE-C] やデジタルシネマ規格 [DCI] で定められた色域・ガンマを再現可能（「2-4. カラー調整をする」（P.17）を参照）
- 動画のぼやけを抑制する黒挿入機能搭載（「2-6. 黒挿入の設定をする」（P.22）を参照)
- 擬似インターレース機能搭載（「2-2. SDI 信号入力時の設定をする」（P.12）を参照)
- モニター特性の測定と調整、ICC プロファイル（for Windows）、Apple ColorSync プロファイル（for Macintosh）の作成が可能なモニター調整ソフトウェア「ColorNavigator」を添付（「1-3. ユーティリティディスクについて」（P.8）を参照）
- スムージング（ソフト～シャープ）機能搭載
- シャープネス（輪郭補正）機能搭載
- 高さ調整機能付きスタンドによる、自由な高さ調整
- モニター一台ごとの工場出荷時の階調特性とユニフォミティ特性をデータ化した、調整データシート付属

1-2. 操作ボタン名称



1. DVI/D-SUB 入力切替ボタン
2. SDI 入力切替ボタン
3. モードボタン
4. エンターボタン
5. コントロールボタン（左・下・上・右）
6. 電源ボタン
7. 電源ランプ

ランプ状態	動作状態
青	画面表示
青点滅 (素早く 2 回)	ColorNavigator でタイマーを設定した場合に、再キャリブレーション実行の必要性を通知（CAL モード）
橙	節電モード
消灯	電源オフ

※ ScreenManager® は当社調整メニューのニックネームです。

1-3. ユーティリティディスクについて

本機には「EIZO LCD ユーティリティディスク」（CD-ROM）が付属しています。ディスクの内容やソフトウェアの概要は、下記を参照してください。

ディスクの内容と概要

ディスクには、調整用のソフトウェア、取扱説明書が含まれています。各項目の起動方法や参照方法はディスク内の Readmeja.txt または「お読みください」を参照してください。

項目	概要	Windows 用	Macintosh 用
Readmeja.txt または「お読みください」ファイル		○	○
ColorNavigator	モニター特性の測定と調整、ICC プロファイル（for Windows）、Apple ColorSync プロファイル（for Macintosh）の作成がおこなえるソフトウェアです。（USB ケーブルによるモニターとコンピュータの接続が必要です。）後述参照	○	○
画面調整ユーティリティ	アナログ信号入力の画面を手動で調整する際に使用するパターン表示ソフトウェアです。	○	—
画面調整パターン集	アナログ信号入力の画面を手動で調整する際に役立つパターン集です。画面調整ユーティリティが、ご使用のコンピュータに対応していない場合、このパターン集を使って調整することができます。	○	—
取扱説明書（PDF ファイル）		○	○

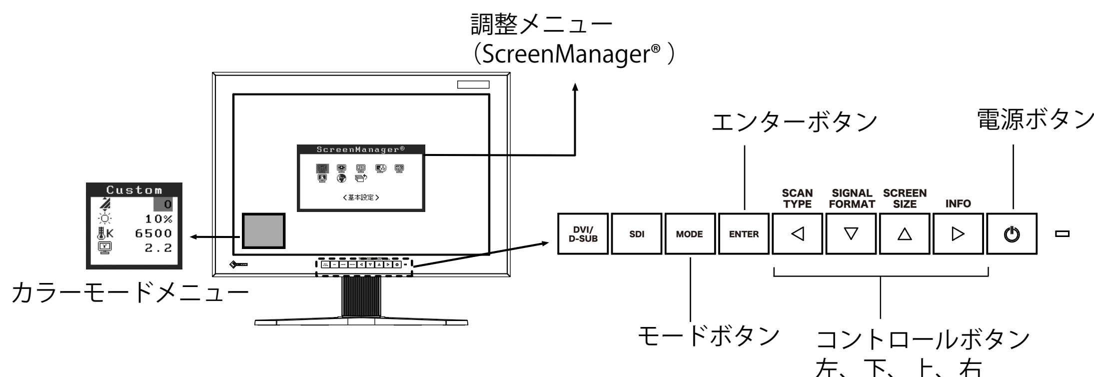
「ColorNavigator」を使用するときは

インストール方法、使用方法については、ディスク内の取扱説明書を参照してください。 ソフトウェアを使用する場合は、モニターとコンピュータを付属の USB ケーブルで接続してください。詳細は、「5-3.USB (Universal Serial Bus) を活用する」（P.30）を参照してください。

1-4. 基本操作方法と機能一覧

基本操作方法

画面調整 / 設定とカラーモード切替が簡単にできます。



注意点

- 調整メニューとカラーモードメニューを同時に表示させることはできません。

1　メニューの表示

ENTERを押し、以下の調整メニューを表示します。



2　調整 / 設定

1. ◁▽△▷で、調整 / 設定したい項目を選択し、ENTER を押して、選択した項目のサブメニューを表示します。（サブメニューについては「機能一覧」（P.10）を参照してください。）
2. ◁▽△▷で、調整 / 設定したい項目を選択し、ENTER を押して、選択した項目の調整 / 設定メニューを表示します。
3. ◁▽△▷で調整 / 設定し、ENTER を押して確定します。

3　終了

1. サブメニューより ＜リターン＞を選択し（▽ を 2 回押すと移動します。）、ENTER を押して、調整メニューに戻ります。
2. 調整メニューより ＜メニューオフ＞を選択し（▽ に 2 回押すと移動します。）、ENTER を押して、調整メニューを終了します。

参考

- ENTER をすばやく続けて 2 回押すと調整メニューを終了させることができます。

機能一覧

調整メニューの調整、および設定項目一覧表です。

メインメニュー	サブメニュー	SDI	DVI	D-SUB	調整 / 設定内容
基本設定	黒挿入	○	○	○	「2-6. 黒挿入の設定をする」(P.22)
	擬似インターレース	○	-	-	「2-2. SDI 信号入力時の設定をする」(P.12)
	レンジ拡張	○	-	-	
	SDI 設定	○	-	-	
	リセット	○	○	○	
ピクチャー調整	自動調整	-	-	○	「2-3. 画面を正しく表示する（アナログ信号のみ）」(P.14)
	クロック	-	-	○	
	フェーズ	-	-	○	
	ポジション	-	-	○	
	解像度	-	-	○	
	レンジ調整	-	-	○	
	拡大モード	○	○	○	「2-5. 画面の拡大率を切り替える」(P.20)
	スムージング	○	○	○	
	信号フィルタ	-	-	○	画面にノイズがある場合にモードを切り替えます。
	シャープネス	○	-	-	「2-2. SDI 信号入力時の設定をする」(P.12)
	表示エリア	○	-	-	
	12 ビットモード	○	-	-	
カラー (Custom)*1	黒レベル	○	○	○	「2-4. カラー調整をする」(P.17)
	ブライトネス	○	○	○	
	色温度	○	○	○	
	ガンマ	○	○	○	
	色の濃さ	○	○	○	
	色合い	○	○	○	
	ゲイン	○	○	○	
	リセット	○	○	○	
PowerManager	オン	○	○	○	「3-1. 節電機能の設定をする」(P.23)
	オフ	○	○	○	
その他	ボーダー	○	○	○	「画像が表示されていない部分（ボーダー）の明るさを設定する場合」(P.21)
	電源ランプ	○	○	○	「3-3. 電源ランプの表示を設定する」(P.24)
	ボタンガイド	○	○	○	「3-4. ボタンガイドの設定をする」(P.24)
	メニュー設定 メニューサイズ	○	○	○	メニューサイズを拡大する
	メニューポジション	○	○	○	メニュー位置を移動する
	メニューオフタイマー	○	○	○	メニュー表示時間を設定する
	リセット	○	○	○	調整 / 設定状態を初期設定に戻す *2
インフォメーション	インフォメーション	○	○	○	設定状況および機種名、製造番号、モニターの使用時間 *3 を確認する
言語選択	英語･ドイツ語･フランス語･スペイン語･イタリア語･スウェーデン語･中国語（簡体字）･中国語（繁体字）・日本語	○	○	○	調整メニューの言語を選択する

*1 <カラー>メニューで調整 / 設定できる機能はカラーモード (P.18) により異なります。表は Custom モードの場合のサブメニューです。(「2-4. カラー調整をする」(P.17) 参照)

*2 <基本設定>はリセットされません。

*3 工場検査などのため、購入時に使用時間が「0」ではない場合があります。

第 2 章 画面を調整する

2-1. 画面の解像度を設定する

表示解像度

本機の対応解像度については、セットアップマニュアル「表示解像度について」を参照してください。

解像度の設定方法

モニターをコンピュータに接続したときに適切な解像度で表示されない場合、または解像度を変更したい場合は、次の手順で解像度を変更します。映像編集機器をご使用の場合には、各機器の取扱説明書を参照してください。

Windows Vista の場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「個人設定」をクリックします。
3. 「個人設定」ウィンドウで「画面の設定」をクリックします。
4. 「画面の設定」ダイアログで「モニタ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
5. 選択したら、「OK」ボタンをクリックします。
6. 確認のダイアログが表示されるので、「はい」ボタンをクリックします。

Windows XP の場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
3. 「画面のプロパティ」ダイアログが表示されるので、「設定」タブをクリックし、「ディスプレイ」の「画面の解像度」で解像度を選択します。
4. 選択したら、「OK」ボタンをクリックして、ダイアログを閉じます。

Mac OS X の場合

1. 「アップル」メニューの「システム環境設定」をクリックします。
2. 「システム環境設定」ダイアログが表示されるので、「ハードウェア」欄の「ディスプレイ」をクリックします。
3. 表示されたダイアログで「ディスプレイ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
4. 選択したらすぐに画面が変更されるので、適切な解像度に設定したらウィンドウを閉じます。

2-2. SDI 信号入力時の設定をする

注意点

- SDI 信号入力時のみ設定できます。

以下は、調整メニューの＜基本設定＞メニューで設定できます。



擬似インターレースを設定する

インターレース信号を入力信号のまま表示し、CRT のような質感のある映像を表示できます。

参考

- ＜擬似インターレース＞は、以下の場合に設定できます。
  - 入力信号が 1080i で、＜ SDI 設定＞メニューでスキャンタイプが「Interlace」に設定されている。
  - 入力信号が 1080i で、＜ SDI 設定＞メニューで「オート」（初期設定）に設定されている。

[設定方法]

1. 調整メニューの＜基本設定＞メニューより＜擬似インターレース＞を選択します。
2. 「オン」を選択します。

注意点

- ＜擬似インターレース＞を「オン」にすると、＜黒挿入＞は設定できません。

信号の出力レンジを拡張する

入力信号に対応するため、信号の範囲を 64/1023 ～ 1019/1023 から 0/1023 ～ 1023/1023 へ拡張します。

[設定方法]

1. 調整メニューの＜基本設定＞メニューより＜レンジ拡張＞を選択します。
2. 「オン」を選択します。

SDI 信号の設定をする

走査方式（スキャンタイプ）および信号形式（シグナルフォーマット）を設定します。

[設定方法]

1. 調整メニューの＜基本設定＞メニューより＜ SDI 設定＞を選択します。
2. 「マニュアル」を選択します。
3. スキャンタイプ（インターレース / プログレッシブ /PsF）を選択します。
4. シグナルフォーマット（YUV 4:2:2/YUV 4:4:4/RGB 4:4:4）を選択します。

参考

- シグナルフォーマットは、SDI 入力信号が SDI-Dual(A-B) または SDI-Dual(B-A) の場合に設定できます。
- シグナルフォーマットは、SDI 入力信号が SDI-1 または SDI-2 の場合には、YUV 4:2:2 に設定されます。

以下は、調整メニューの＜ピクチャー調整＞メニューで設定できます。

シャープネスを調整する



画像を構成するピクセル間の色の差を強調することにより、画像の輪郭を強調するとともに質感・素材感を向上させる機能です。

注意点

- 設定によっては、＜シャープネス＞を設定することはできません（「第 4 章 故障かな？と思ったら」参照）。

[設定方法]

1. 調整メニューの＜ピクチャー調整＞メニューより＜シャープネス＞を選択します。
2. ◁ ▷で調整します（0 ～ 10）。

表示エリアの調整をする

2048 × 1080 信号入力時に、表示領域を移動させることができます。

[設定方法]

1. 調整メニューの＜ピクチャー調整＞メニューより＜表示エリア＞を選択します。
2. ◁ ▷で調整します（-2 ～ 2）。

12 ビット信号の有効ビットを選択する

12 ビット信号を表示する際の有効ビットを選択します。
[11:2]：上位 10 ビットで信号を形成して表示します。（初期設定）
[9:0]： 下位 10 ビットで信号を形成して表示します。

参考

- ＜ 12 ビットモード＞は、以下の場合に設定できます。
  - -SDI-Dual(A-B) / SDI-Dual(B-A) 信号が入力されており、＜ SDI 設定＞メニュー（前ページ参照）で「マニュアル」、信号形式「RGB4:4:4」に設定されている。
  - -SDI-Dual(A-B) / SDI-Dual(B-A)、「RGB4:4:4」の信号が入力されており、＜ SDI 設定＞メニュー（前ページ参照）で「オート」に設定されている。

[設定方法]

1. 調整メニューの＜ピクチャー調整＞メニューより＜ 12 ビットモード＞を選択します。
2. ◁ ▷で [11:2] / [9:0] を選択します。

2-3. 画面を正しく表示する（アナログ信号のみ）

注意点

- 調整はモニターの電源を入れて、30 分以上経過してからおこなってください。
（内部の電気部品の動作が安定するのに約 30 分かかります。）

デジタル信号入力の場合は、本機の設定データに基づいて画面が正しく表示されます。

モニターの画面調整とは、使用するコンピュータに合わせ、画面のちらつきを抑えたり画像の表示位置やサイズを正しく調整するためのものです。快適に使用していただくために、モニターを初めてセットアップしたときや使用しているコンピュータの設定を変更した場合には、画面の調整をしてください。

調整手順

1　自動画面調整をします。

1. 調整メニューの＜ピクチャー調整＞メニューより＜自動調整＞を選択します。
2. 「実行」を選択します。
自動調整機能が働き（動作中であることを示すアイコンが表示されます）、画面のちらつき・表示位置・サイズが正しく調整されます。

注意点

- この機能は Macintosh や Windows など画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。
- 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

1 の手順を実行しても画面が正確に表示されていない場合は以降の手順に従って調整をおこなってください。正確に表示された場合は、5. レンジ調整にお進みください。

2　アナログ画面調整用のパターンを準備します。

Windows の場合

1. 「EIZO LCD ユーティリティディスク」をコンピュータにセットします。
2. ディスクの起動メニューから「画面調整ユーティリティ」を起動します。起動できない場合は、画面調整パターン集を開きます。

参考

- 画面調整パターン集の開きかたおよび内容については、Readmeja.txt ファイル を参照してください。

Windows 以外の場合

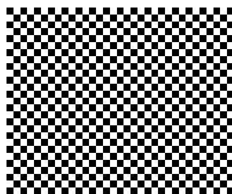
当社ホームページ（http://www.eizo.co.jp）から「画面調整パターン集」をダウンロードしてください。

参考

- 画面調整パターン集の開きかたおよび内容については、ダウンロードした「お読みください」ファイル を参照してください。

3 アナログ画面調整用のパターンを表示して、再度自動サイズ調整をします。

1. 「画面調整ユーティリティ」または画面調整パターン集を使用して、パターン 1 を全画面に表示します。

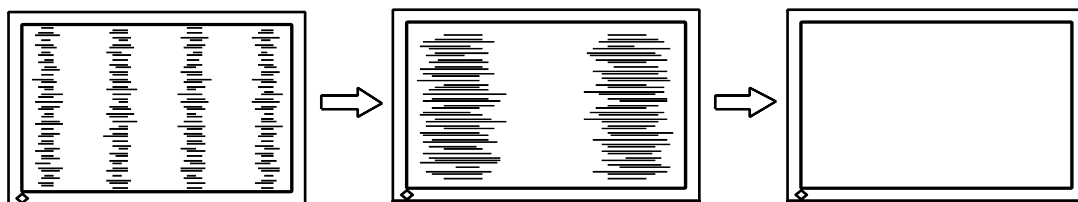


2. 調整メニューの＜ピクチャー調整＞メニューより＜自動調整＞を選択します。

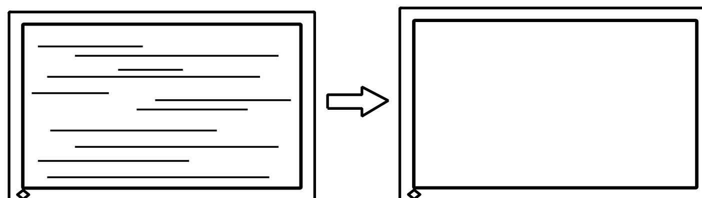
3. 「実行」を選択します。
   動調整機能が働き（動作中であることを示すアイコンが表示されます）、画面のちらつき・表示位置・サイズが正しく調整されます。

4 調整メニューの＜ピクチャー調整＞メニューにより調整します。

(1) 縦縞が出ている場合
→ ＜クロック＞を調整します。
＜クロック＞を選択し、 を使用して縦縞が消えるように調整します。調整が合ったポイントを見逃しやすいのでのををゆっくり押して調整するようにしてください。
調整後、画面全体ににじみやちらつき、横線が出た場合は次の「(2) フェーズ調整 」にすすみ調整をおこなってください。



(2) ちらついたり、にじむようにみえる場合
→ ＜フェーズ＞を調整します。
＜フェーズ＞を選択し、を使用して最もちらつきやにじみのない画面に調整します。



注意点

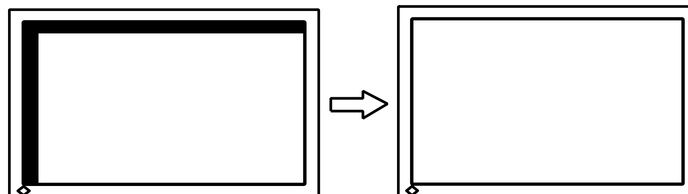
- お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくならないものがあります。

(3) 表示位置がずれている場合

→ <ポジション>を調整します。

液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、画像の正しい表示位置は 1 箇所です。ポジション調整とは画像を正しい位置に移動させるための調整です。

<ポジション>を選択し、画像全体が表示されるように◁▽△▷で調整します。調整後、画面に縦縞が現れた場合は、「(1) クロック調整 」に戻り、再度調整をおこなってください。（クロック→フェーズ→ポジション）

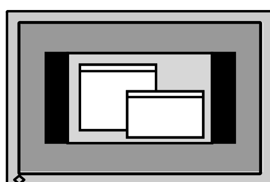


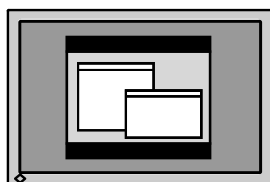
(4) 余分な画像が表示されていたり、画像が切れている場合

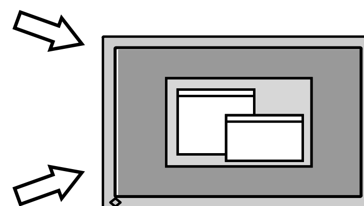
→ <解像度>を確認します。

<解像度>を選択し、調整メニューに表示されている解像度と、入力信号の解像度が同じになるように▽△で垂直方向の解像度を、◁▷で水平方向の解像度を調整します。

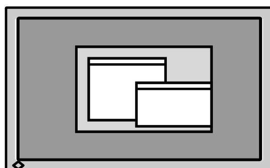
表示ドット部が多いため、余分な画像が表示されている

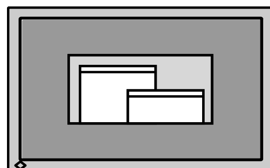






表示ドット数が少ないため、画像が切れている





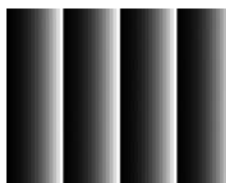
5 信号の出力レンジ（レンジ調整）を調整します。

→ <ピクチャー調整>メニューの<レンジ調整>で調整します。

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調（0 ～ 255）を表示できるように調整します。

[設定方法]

1. 「画面調整ユーティリティ」または画面調整パターン集を使用して、パターン 2 を全画面に表示します。



2. <ピクチャー調整>メニューで<レンジ調整>を選択し、ENTER を押します。
3. 「実行」を選択します。
   色階調が自動的に調整されます。
4. パターン 2 を閉じます。「画面調整ユーティリティ」を起動している場合は終了します。

2-4. カラー調整をする

簡易調整 (カラーモードの切替)

カラーモードを切り換えることにより、モニターの用途に応じた表示モードに設定できます。

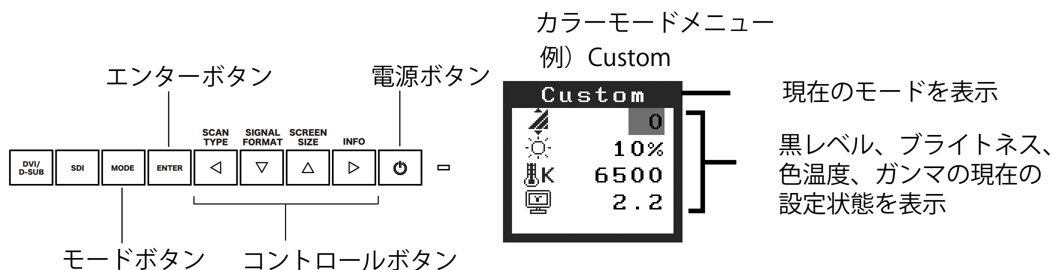
カラーモードを選択する

[MODE]を押すと、カラーメニューが画面左下に表示されます。[MODE]ボタンを押すたびに 7 つのモードが順に切り替わり表示されます。
[ENTER]を押すと終了します。

→ Custom → sRGB → EBU → Rec709 → SMPTE-C → DCI → CAL

参考

• 調整メニューとカラーモードメニューを同時に表示させることはできません。



カラーモードの種類

表示モード（7 種類）を選択できます。

モード	用途
Custom	お好みの設定にすることができます。
sRGB	sRGB対応の周辺機器と色を合わせる場合に適しています。
EBU	EBU（欧州放送連合）規格で定められた色域・ガンマを再現するのに適しています。
Rec709	ITU-RのRec709規格で定められた色域・ガンマを再現するのに適しています。
SMPTE-C	SMPTE-C規格で定められた色域・ガンマを再現するのに適しています。
DCI	DCI規格で定められた色域・ガンマを再現するのに適しています。
CAL	キャリブレーションソフトウェアによる調整状態で表示します。

カラーモードのカラー設定を変更する

カラーモードメニューで＜黒レベル＞、＜ブライトネス＞、＜色温度＞、＜ガンマ＞の調整 / 設定ができます。[▽][△]で調整 / 設定したい項目を選択し、[◁][▷]で値を調整 / 設定します。（色温度、ガンマの値はモードによっては固定されています）。

注意点

• 「CAL」モードでは、モニター調整ソフトウェア「ColorNavigator」による調整のみおこなうことができます。

詳細調整 [調整メニュー]

調整メニューの<カラー>メニューで、カラーモードごとに独立した、カラー調整の設定、保存ができます。

アナログ信号のカラー調整をおこなうときは、まず<レンジ調整>をおこなってください。カラー調整中にカラーモードの変更はできません。あらかじめ、カラーモードを MODE で設定しておいてください。

調整項目

カラーモードにより、<カラー>メニューで調整 / 設定できる機能が異なります（表示メニューも異なります）。調整内容については次ページの「調整項目」を参照してください。

○：調整 / 設定可　―：工場にて設定済み

アイコン	機能名		カラーモード						
			Custom	sRGB	EBU	Rec709	SMPTE-C	DCI	CAL
	黒レベル	*	○	○	○	○	○	○	○
	ブライトネス	*	○	○	○	○	○	○	―
	色温度	*	○	○	○	○	○	○	―
	ガンマ	*	○	○	○	○	○	○	―
	色の濃さ		○	―	―	―	―	―	―
	色合い		○	―	―	―	―	―	―
	ゲイン		○	―	―	―	―	―	―
	リセット		○	○	○	○	○	○	○

* これらの調整項目はカラーモードメニューでも調整 / 設定ができます。

注意点

- 調整はモニターの電源を入れて、30 分以上経過してからおこなってください。（内部の電気部品の動作が安定するのに約 30 分かかります。）
- モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

調整内容

メニュー	内容	調整範囲
黒レベル	黒レベルを調整する	0 ～ 32
ブライトネス	画面全体の明るさを好みの状態に調整する	0 ～ 100%
	参考 • 「%」表示は調整値の目安としてご利用ください。	
色温度	色温度を選択する	5000K ～ 10000K まで 500K 単位で選択します。(5400K、9300K 含む)
	参考 • 「K」表示は参考値としてご利用ください。 • 色温度を調整すると、色温度に応じて＜ゲイン＞が自動調整されます。 • 5000K より低く、あるいは 10000K より高くすると、設定が「オフ」になります。 • 本設定は＜ゲイン＞の設定をすると「オフ」になります。 • sRGB/EBU/REC709/SMPTE-C/DCI モードの初期設定は「Std.」で、各規格に準拠した色温度になります。	
ガンマ	ガンマ値を設定する	1.6 ～ 2.7
	参考 • ガンマ機能についてはデジタル信号入力でのご使用をおすすめします。アナログ信号入力の場合は 1.8 ～ 2.2 に設定してください。 • sRGB/EBU/REC709/SMPTE-C/DCI モードの初期設定は「Std.」で、各規格に準拠したガンマになります。	
色の濃さ	色を鮮やかにする	-100 ～ 100 最小値 (-100) で白黒の画面となります。
	注意点 • 本機能を使用することにより、すべての色階調を表示できないことがあります。	
色合い	肌色などを好みの色合いにする	-100 ～ 100
	注意点 • 本機能を使用することにより、すべての色階調を表示できないことがあります。	
ゲイン	赤、緑、青をそれぞれ調整し、好みの色調にする	0 ～ 100% 赤、緑、青のそれぞれの明度を調整することにより、任意の色調を作ります。背景が白またはグレーの画像を表示して調整してください。
	参考 • 「%」表示は調整値の目安としてご利用ください。 • 本設定は＜色温度＞の設定をすると無効になります。ゲインの設定は色温度に応じて変化します。	
	注意点 • 本機能を使用することにより、すべての色階調を表示できないことがあります。	
リセット	カラー調整状態をすべて初期状態に戻す	＜リセット＞を実行します。

2-5. 画面の拡大率を切り替える

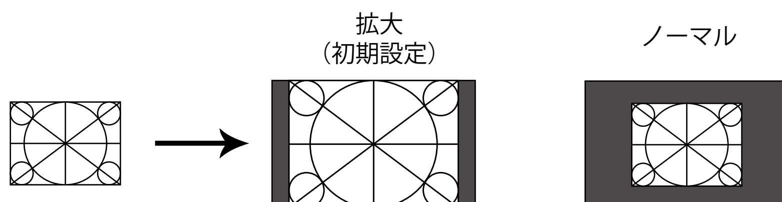
＜ピクチャー調整＞メニューの＜拡大モード＞機能を使用して、画面の拡大率を切り替えることができます。

入力画面の拡大率を切り替える

→ ＜拡大モード＞で切り替えます。
＜ピクチャー調整＞メニューより＜拡大モード＞を選択し、▽ △でモードを選択します。

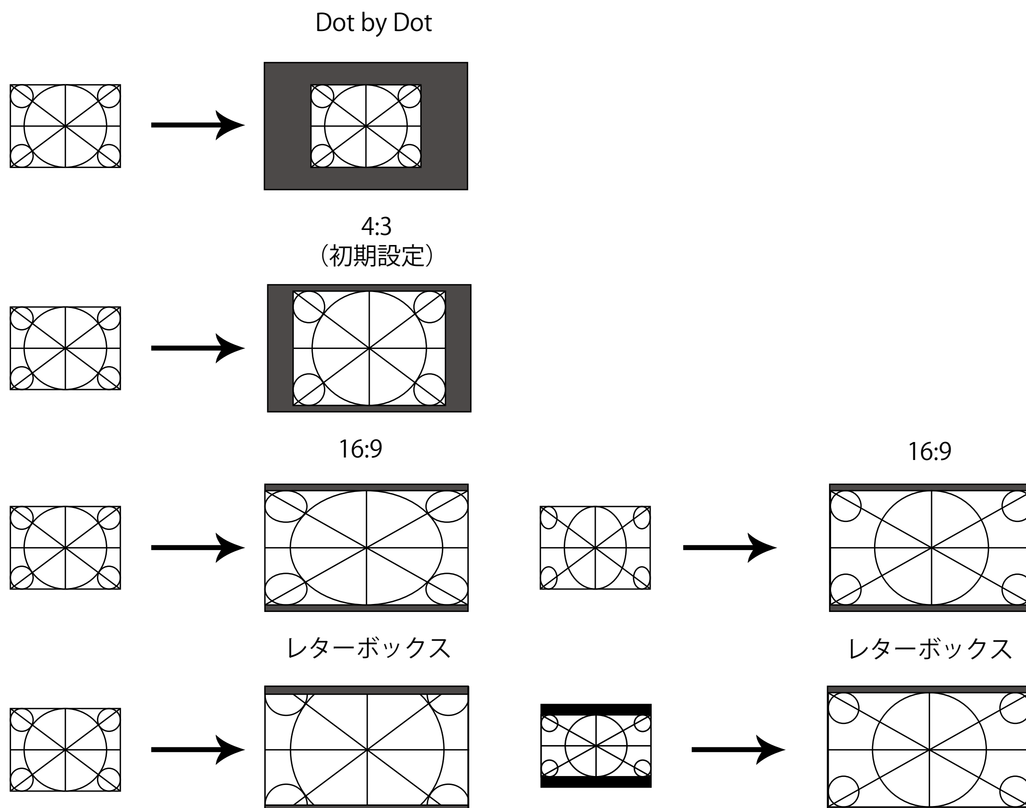
DVI/D-SUB 信号入力時

モード	機能
拡大	画面いっぱいに画像を表示します。ただし、拡大比率を縦・横一定にするため、水平・垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。
ノーマル	入力信号の解像度のままの大きさで映像を表示します。



SDI 信号入力時（入力信号 NTSC または PAL）

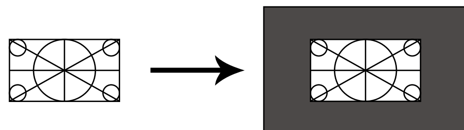
モード	機能
Dot by Dot	入力信号の解像度のままの大きさで映像を表示します。
4:3	入力映像をアスペクト比 4:3（横：縦）のまま、垂直解像度 1080 となるように拡大して表示します。
16:9	入力映像をアスペクト比 16:9（横：縦）のまま、垂直解像度 1080 となるように拡大して表示します。
レターボックス	レターボックスの入力映像をアスペクト比を保ったまま、垂直解像度 1080 となるように拡大して表示します。



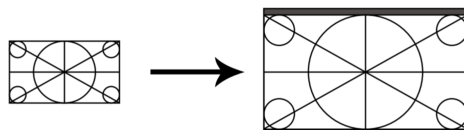
SDI 信号入力時（入力信号 720p）

モード	機能
Dot by Dot	入力信号の解像度のままの大きさで映像が表示されます。
拡大	入力映像をアスペクト比を保ったまま、垂直解像度 1080 となるように拡大して表示します。

Dot by Dot



拡大
（初期設定）



画面の表示率切替後、以下の場合に設定が必要となります。

文字や線がぼやけてみえる場合

→ ＜スムージング＞の設定を切り替えます。

「拡大」モードで表示した場合、表示された画像の文字や線がぼやけて見える場合があります。

＜ピクチャー調整＞メニューより＜スムージング＞を選択し、1 ～ 5 段階（ソフト～シャープ）から好みに応じて選択します。

注意点

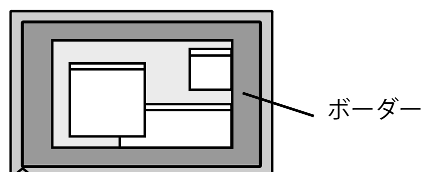
- 表示解像度によってはスムージングの設定をする必要はありません（スムージングアイコンを選択することはできません）。

画像が表示されていない部分（ボーダー）の明るさを設定する場合

→ ＜ボーダー＞で設定します。

「ノーマル」、「拡大」モード時には、画像の周囲にボーダー（画像が表示されていない暗い部分）が表示される場合があります。

＜その他＞メニューより＜ボーダー＞を選択し、◁ ▷で調整します。



2-6. 黒挿入の設定をする

動画表示時のぼやけを抑制するために黒画面を挿入します。

[設定方法]

1. 調整メニューの＜基本設定＞メニューより＜黒挿入＞を選択します。

2.「オン」を選択します。

注意点

- 「オン」に設定すると輝度が低下することがあります。
- 「オン」に設定すると、DVI/D-SUB 入力信号がフレーム同期対応周波数外の場合、画面にフリッカーが生じます。
- 「オン」に設定すると、ブライトネスを 45% 以上に設定しても輝度は変わりません。

第 3 章 モニターの設定をする

3-1. 節電機能の設定をする

調整メニューの＜ PowerManager ＞メニューで節電機能を設定できます。

注意点

- 完全な節電のためにはモニターの電源を切ることをおすすめします。また、主電源スイッチをオフにするか、電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。
- モニターが節電モードの場合、またモニターの電源ボタンをオフにしても、USB ポート（アップストリームおよびダウンストリーム）に接続されている機器が動作します。そのためモニターの消費電力は、節電モードであっても接続される機器によって変化します。
- ColorNavigator ご使用時は、節電設定をオフにすることおすすめします。

アナログ信号入力の場合

「VESA DPMS」に準拠しています。

[設定方法]

1. コンピュータの節電機能を設定します。
2. ＜ PowerManager ＞メニューより、「オン」を選択します。

[節電の流れ]

コンピュータの状態		モニターの状態	電源ランプ
オン		オペレーションモード	青
節電モード	スタンバイ サスペンド オフ	節電モード	橙

[復帰方法]

キーボードまたはマウスを操作します。

デジタル信号入力の場合

・DVI 信号入力時：「DVI DMPM」に準拠しています。

・SDI 信号入力時：当社独自の節電機能「SDI 」に準拠しています。

[設定方法]

1. コンピュータの節電機能を設定します。
2. ＜ PowerManager ＞メニューより、「オン」を選択します。

[節電の流れ]

コンピュータの設定に連動し 5 秒後に節電モードに入ります。

コンピュータまたは映像編集機器の状態	モニターの状態	電源ランプ
オン	オペレーションモード	青
節電モード	節電モード	橙

[復帰方法]

コンピュータ / 節電モードからの復帰：キーボードまたはマウスを操作します。

3-2. ボタン操作をロックする

調整 / 設定した状態を変更できないようにします。

ロックできるボタン	• [ENTER]（エンターボタン）　調整メニューによる調整 / 設定 • [MODE]（モードボタン）
ロックできないボタン	• [DVI/D-SUB]（DVI/D-SUB 入力切替ボタン） • [SDI]（SDI 入力切替ボタン） • [⏻]（電源ボタン） • [◁][▽][△][▷]（コントロールボタン）

[設定方法]

1. [⏻]を押して、いったん電源を切ります。
2. [MODE]を押しながら、[⏻]を押します。
   調整ロックがかかり画面が表示されます。

[解除方法]

1. [⏻]を押して、電源を切ります。
2. [MODE]を押しながら、再度[⏻]を押します。
   調整ロックが解除され画面が表示されます。

3-3. 電源ランプの表示を設定する

画面表示時の電源ランプ（青）の輝度を設定することができます（初期設定では、電源ランプは電源を入れたときに点灯し、4 に設定されています）。

[設定方法]

1. 調整メニューの＜その他＞メニューより＜電源ランプ＞を選択します。
2. [◁][▷]で設定します（オフまたは 1 ～ 7）。

3-4. ボタンガイドの設定をする

ボタンガイドの表示 / 非表示の切替ができます（初期設定では、ボタンガイドは表示されます）。

[設定方法]

1. 調整メニューの＜その他＞メニューより＜ボタンガイド＞を選択します。
2. 「オン」または「オフ」を選択します。

第 4 章 故障かな？と思ったら

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

- 画面が表示されない場合 → 項目 1、2 を参照してください。
- 画面に関する症状 → 項目 3 ～ 16 を参照してください。
- その他の症状 → 項目 17 ～ 21 を参照してください。
- USB に関する症状→ 項目 22 を参照してください。

	症状	チェックポイント / 対処方法
画面が表示されない場合	1. 画面が表示されない •電源ランプが点灯しない	• 電源コードは正しく差し込まれていますか。電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。 • 主電源スイッチをオンにしてください。 • ⏻ を押してみてください。
	•電源ランプが点灯：青色	• ＜ブライトネス＞、＜ゲイン＞の各調整値を上げてみてください。(P.18 参照)
	•電源ランプが点灯：橙色	• DVI/D-SUB / SDI で入力信号を切り替えてみてください • マウス、キーボードを操作してみてください。 • コンピュータの電源が入っていますか。 • 信号ケーブルは正しく接続されていますか。
	2. 以下のようなメッセージが表示される。	この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。
	•信号が入力されていない場合の表示です。 （この表示は約 40 秒間表示されます。） 入力信号チェック D-SUB fH:　0.0kHz fV:　0.0Hz 入力信号チェック SDI-1 No Signal	• コンピュータによっては電源オン時に信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。 • コンピュータの電源は入っていますか。 • 信号ケーブルは正しく接続されていますか。 • DVI/D-SUB / SDI で入力信号を切り替えてみてください。
	•入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。 （範囲外の周波数は赤色で表示されます。） 例： 入力信号エラー D-SUB fH:110.0kHz fV:　75.0Hz 入力信号エラー DVI fD:165.0MHz fH:　75.0kHz fV:　60.0Hz	• コンピュータの設定が、本機で表示できる解像度、垂直周波数（P.11 参照）になっていますか。 • コンピュータを再起動してみてください。 • グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な表示モードに変更してください。詳しくはグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。 fD:　ドットクロック（デジタル信号入力時のみ） fH:　水平周波数 fV:　垂直周波数

	症状	チェックポイント / 対処方法
画面に関する症状	3. 画像がずれている	• ＜ポジション＞調整で画像を正しい位置に移動してください。(P.16 参照) • グラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。
	4. 画像の一部が表示されない / 余分な画像が表示される	• ＜解像度＞で入力信号の解像度と解像度調整メニューの解像度が合うように調整してください。(P.16 参照)
	5. 画面に縦線が出ている / 画面の一部がちらついている	• ＜クロック＞で調整してみてください。(P.15 参照)
	6. 画像が重なって見える / 画像の右側に明るい線が見える	• ＜信号フィルタ＞を調整してみてください。
	7. 画面全体がちらつく、にじむように見える	• ＜ フェーズ＞で調整してみてください。(P.15 参照)
	8. 文字がぼやけて見える	• ＜スムージング＞で調整してみてください。(P.21 参照)
	9. 画面の上部が下図のように歪む	• コンポジットシンク（X-OR）の信号とセパレートシンクの垂直同期信号が同時に入力されている場合に起こります。入力する信号をコンポジットかセパレートのどちらか一方にしてください。
	10. 画面が明るすぎる / 暗すぎる	• ＜ブライトネス＞を調整してください。（LCD モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、エイゾーサポートにご相談ください。）
	11. 残像が現れる	• 長時間同じ画像を表示する場合に、スクリーンセーバーを設定してください。 • この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することを極力避けることをおすすめします。
	12. 画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	• これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
	13. 画面上に干渉縞が見られる / パネルを押したあとが消えない	• 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
	14. 画面にノイズがあらわれる	• アナログ信号入力の場合、＜ピクチャー調整＞の＜信号フィルタ＞でモードを切り替えてみてください。 • HDCP 方式の信号を入力した場合、正常な画面がすぐに表示されないことがあります。
	15. 画面にフリッカーが生じる	• ＜ピクチャー調整＞の＜黒挿入＞を「オフ」に設定してください。 • 入力信号を同期信号に変更してください。
	16. SDI 信号入力時に画面が正しく表示されない	• スキャンタイプが正しく設定されていますか。 • シグナルフォーマットが正しく設定されていますか。 • 拡大モードが正しく設定されていますか。 • SDI の設定を確認してみてください。

	症状	チェックポイント / 対処方法
その他の症状	17. 調整メニューにおいて、＜ピクチャー調整＞の＜スムージング＞アイコンが選択できない	• 表示解像度によってはスムージングの設定をする必要はありません（スムージングアイコンを選択することはできません）。 • 以下の場合は選択できません。 　• 1920 × 1200 以上で表示している場合 　• 800 × 600 を「拡大」で表示している場合 　• 960 × 600 を「拡大」で表示している場合 　• 1600 × 1200 を「拡大」で表示している場合 　• ＜拡大モード＞で「Dot by Dot」または「ノーマル」を選択している場合 　• NTSC、PAL、720p 以外の SDI 信号を入力している場合
	18. 調整メニューにおいて、＜ピクチャー調整＞の＜シャープネス＞アイコンが選択できない	• 以下の場合は選択できません。 　• DVI/D-SUB 信号を入力している場合 　• 1920 × 1200 以上で表示している場合 　• 800 × 600 を「拡大」で表示している場合 　• 960 × 600 を「拡大」で表示している場合 　• 1600 × 1200 を「拡大」で表示している場合 　• ＜拡大モード＞で「Dot by Dot」を選択している場合 　• NTSC、PAL、720p 以外の SDI 信号を入力している場合
	19. 調整メニューのメインメニューが起動できない	• 調整ロックが機能していないか確認してみてください。（P.24 参照）
	20. カラーモードメニューが起動できない	• 調整ロックが機能していないか確認してみてください。（P.24 参照）
	21. 自動調整機能が動作しない	• 自動調整機能はデジタル信号入力時には動作しません。 • 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。
USBに関する症状	22. USB ケーブルで接続したモニターが認識されない / モニターに接続している USB 周辺機器が動作しない	• USB ケーブルは正しく差し込まれていますか。 • 別の USB ポートに差し替えてみてください。別のポートで正しく動作した場合は、エイゾーサポートにご相談ください。（詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください。） • コンピュータを再起動してみてください。 • 直接コンピュータと周辺機器を接続してみて、周辺機器が正しく動作した場合は、お買い求めの販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。 • ご使用のコンピュータおよび OS が USB に対応しているかご確認ください。（各機器の USB 対応については各メーカーにお問い合わせください。） • Windows をご使用の場合、コンピュータに搭載されている BIOS の USB に関する設定をご確認ください（詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください）。

第 5 章 ご参考に

5-1. アームを取り付ける

本機はスタンド部分を取り外すことによって、アーム（あるいは別のスタンド）に取り付けることが可能になります。

注意点

- 取り付けの際は、アームまたはスタンドの取扱説明書の指示に従ってください。
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、以下の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認のうえ、VESA 規格準拠のものをお選びください。
  - 取付部のネジ穴間隔：100mm × 100mm
  - プレート部の厚み：2.6mm
  - 許容質量：モニター本体の質量（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総質量に耐えられること
- アームまたはスタンドを使用する場合は、以下の範囲（チルト角）で使用してください。
  - 上 45°下 45°（横表示時）
- ケーブル類は、アームを取り付けた後に接続してください。
- モニターおよびアームは重量があります。落としたりするとけがや故障の原因になります。

取付方法

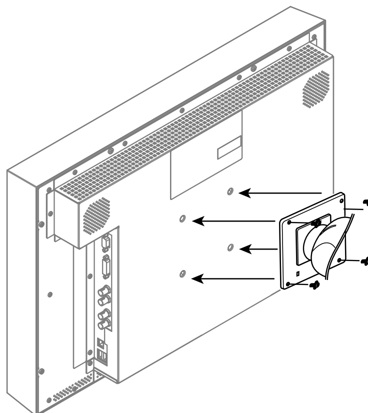
1 液晶パネル面が傷つかないよう、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。

2 スタンド部分を取り外します。（別途ドライバーを準備ください。）

ドライバーを使って、本体部分とスタンドを固定しているネジ 4 箇所を取り外します。

3 モニターにアーム（またはスタンド）を取り付けます。

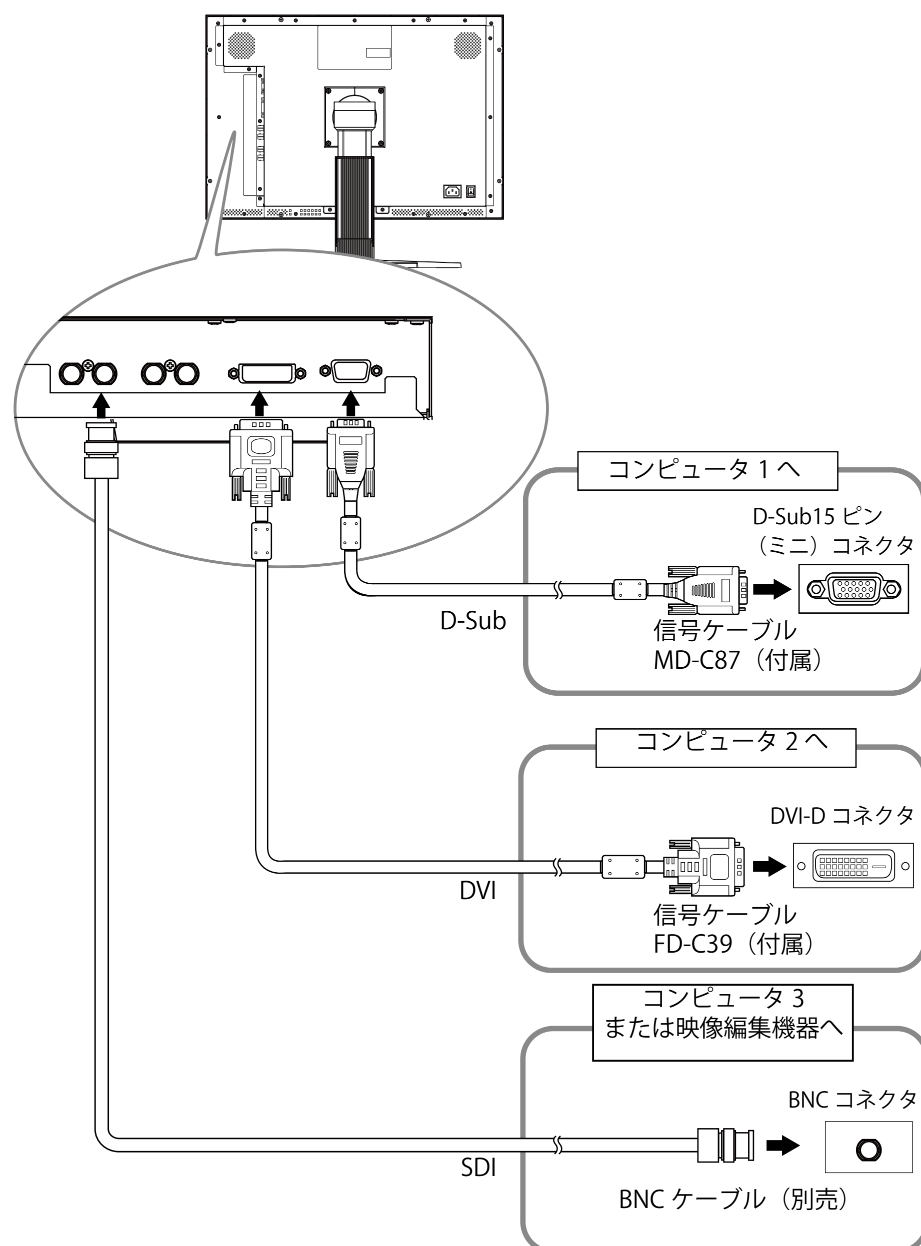
アームまたはスタンドの取扱説明書で指定のネジを使って取り付けます。



5-2. 2 台以上のコンピュータを接続する

本機は、背面の D-SUB15 ピン（ミニ）、DVI-D、SDI（BNC） コネクタに 2 台以上のコンピュータを接続し、切り替えて表示することができます。

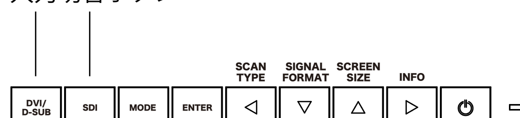
接続例



入力信号の切替方法

DVI/D-SUB / SDI を押して入力信号を切り替えます。押すたびに信号が切り替わります。
なお、信号を切り替えた時には、現在表示されている信号の種類（DVI、D-SUB、SDI）が画面右上に表示されます。

入力切替ボタン



5-3. USB（Universal Serial Bus）を活用する

本機は USB 規格に対応しているハブを搭載しています。USB 対応のコンピュータまたは他の USB ハブに接続することにより、本機が USB ハブとして機能し、USB に対応している周辺機器と接続できます。

必要なシステム環境

- USB ポートを搭載したコンピュータ、あるいは USB 対応のコンピュータに接続している他の USB ハブ
- Windows 2000/XP/Vista または Mac OS 9.2.2 および Mac OS X 10.2 以降
- EIZO USB ケーブル（MD-C93）

注意点

- 使用するコンピュータおよび周辺機器によっては動作しない場合がありますので、各機器の USB 対応については各メーカーにお問い合わせください。
- 使用する機器は USB Rev. 2.0 対応のものをおすすめします。
- モニターが節電モードの場合、またモニターの電源ボタンをオフにしても、USB ポート（アップストリームおよびダウンストリーム）に接続されている機器が動作します。そのためモニターの消費電力は、節電モードであっても接続される機器によって変化します。
- 主電源スイッチがオフの場合は、USB ポートに接続されている機器は動作しません。
- 以下は Windows 2000/XP/Vista および Mac OS の場合の手順です。

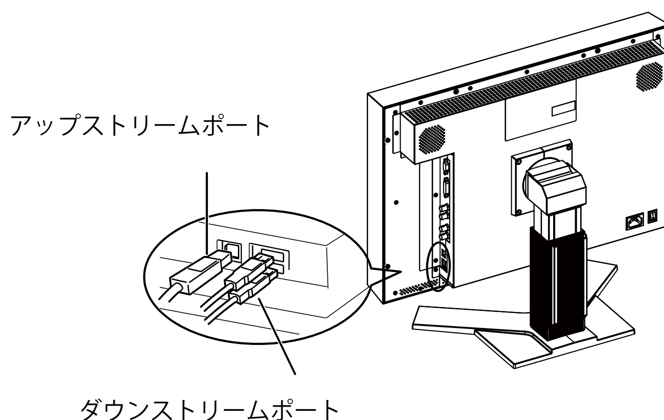
接続方法（USB 機能のセットアップ方法）

1 **はじめにコンピュータとモニターを信号ケーブルで接続し、コンピュータを起動しておきます。**

2 **USB 対応のコンピュータ（あるいは他の USB ハブ）のダウンストリームとモニターのアップストリームを USB ケーブルで接続します。**

USB ケーブルの接続より自動的に USB 機能がセットアップされます。

3 **セットアップが完了すると、モニターが USB ハブとして機能し、さまざまな USB 対応の周辺機器をモニターの USB ポート（ダウンストリーム）に接続することができます。**



5-4. 仕様

液晶パネル	サイズ	57cm（22.5）型
	表面処理	ハードコーティング
	表面硬度	2H
	応答時間	約 12ms
	視野角	左右 176°、上下 176°　CR ≧ 10
	ドットピッチ	0.252mm
水平走査周波数	アナログ	26 ～ 92kHz
	デジタル	26 ～ 78kHz
垂直走査周波数	アナログ	23.8 ～ 86Hz
	デジタル	23.8 ～ 61Hz（VGA TEXT 時 : 69 ～ 71Hz）
解像度		1920 ドット× 1200 ライン
ドットクロック（最大）	アナログ	162MHz
	デジタル	162MHz
最大表示色		10 億 7374 万色
推奨輝度		100cd/m^2 以下　（色温度：5000K ～ 6500K 時）
表示サイズ（水平×垂直）		483.84mm × 302.4mm
電源		AC100V ± 10%、50/60Hz、1.1A
消費電力	画面表示時	110W 以下（USB 機器接続時） 100W 以下（USB 機器非接続時）
	節電モード	7W 以下（1 系統入力時、USB 機器非接続時）
	電源ボタンオフ時	1.0W 以下（USB 機器非接続時）
	主電源スイッチオフ時	0W
信号入力コネクタ		D-SUB15 ピン（ミニ）× 1 DVI-D コネクタ（HDCP 対応）× 1 BNC コネクタ（HD/SD-SDI）× 2　IEC60169-8 準拠 75 Ω
信号出力コネクタ		BNC コネクタ（ループスルー）× 2
アナログ信号　入力同期信号		セパレート、TTL、正 / 負極性
		コンポジット、TTL、正 / 負極性
アナログ信号　入力映像信号		アナログ、正極性 (0.7Vp-p/75 Ω)
デジタル信号伝送方式 (DVI)		TMDS（Single Link）
ビデオ信号メモリー	アナログ	45 種（プリセット 9 種）
	デジタル	10 種（プリセット 0 種）
プラグ＆プレイ機能		アナログ / デジタル（DVI-D）信号入力時：VESA DDC 2B/EDID structure 1.3
寸法	本体	567mm（幅）× 481 ～ 599mm（高さ）× 255mm（奥行き）
	スタンドなし	567mm（幅）× 389mm（高さ）× 113mm（奥行き）
質量	本体	約 13.4kg
	スタンドなし	約 8.8kg
可動範囲		チルト角度：　上 40°下 0° スィーベル角度：　右 35°左 35° 昇降：　118mm

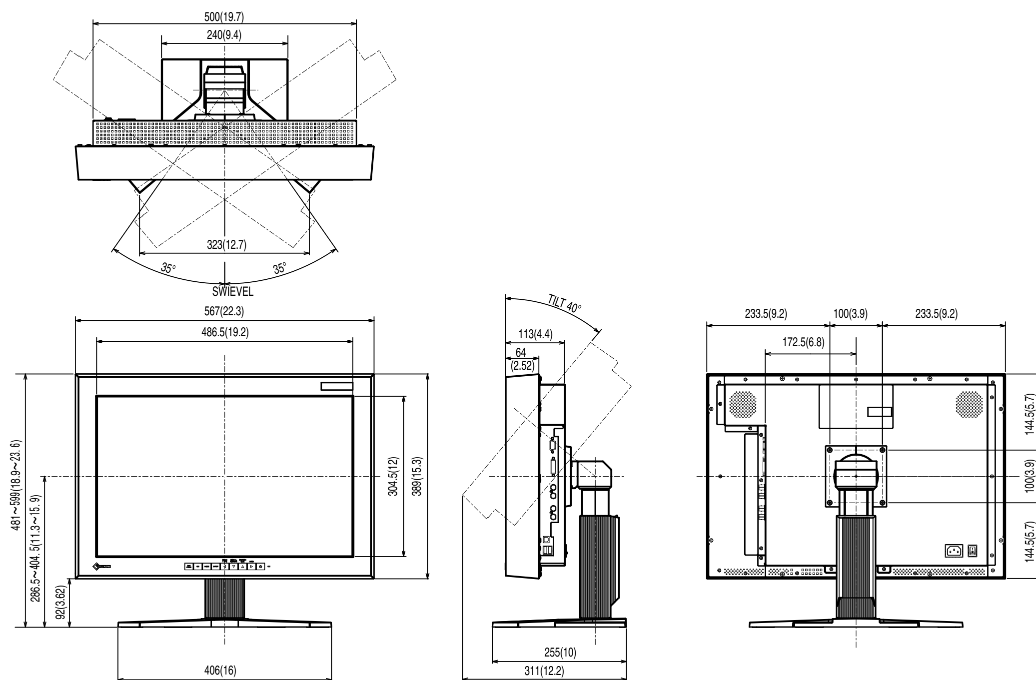
環境条件	温度	動作温度範囲：　0℃～ 35℃ 輸送および保存温度範囲：-20℃～ 60℃
	湿度	相対湿度範囲：　30% ～ 80% R.H.（非結露状態） 運送および保存湿度範囲：30% ～ 80% R.H.（非結露状態）
	気圧	動作気圧範囲：　700 ～ 1060 hPa. 運送および保存気圧範囲：200 ～ 1060 hPa.
USB	規格	USB Specification Revision 2.0 準拠
	ポート	アップストリーム× 1、ダウンストリーム× 2
	通信速度	480Mbps（ハイスピード）、12Mbps（フルスピード）、 1.5Mbps（ロースピード）
	供給電流	ダウンストリーム：最大 500mA/1 ポート

主な初期設定（工場出荷設定）値

ブライトネス		20%
スムージング		3
色温度		6500K
カラーモード		Custom
PowerManager		オン
拡大モード		拡大
メニュー設定	メニューサイズ	拡大
	メニューオフタイマー	45 秒
黒挿入		オフ
擬似インターレース		オフ
レンジ拡張		オフ
SDI 設定		オート
言語選択		日本語

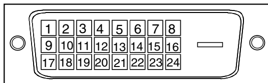
外観寸法

単位：mm（インチ）



入力信号接続

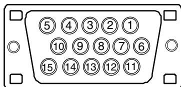
● DVI-D コネクタ



ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号
1	T.M.D.S. Data 2-	9	T.M.D.S. Data1-	17	T.M.D.S. Data0-
2	T.M.D.S. Data 2+	10	T.M.D.S. Data1+	18	T.M.D.S. Data0+
3	T.M.D.S. Data2/4 Shield	11	T.M.D.S. Data1/3 Shield	19	T.M.D.S. Data0/5 Shield
4	NC*	12	NC*	20	NC*
5	NC*	13	NC*	21	NC*
6	DDC Clock （SCL）	14	+5V Power	22	T.M.D.S. Clock shield
7	DDC Data （SDA）	15	Ground （return for +5V, Hsync, and Vsync）	23	T.M.D.S. Clock+
8	NC*	16	Hot Plug Detect	24	T.M.D.S. Clock-

（NC*: No Connection）

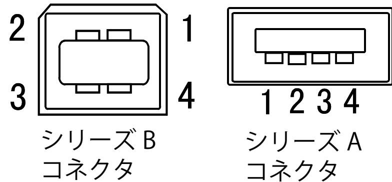
● D-SUB コネクタ



ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号
1	Red video	6	Red video ground	11	NC*
2	Green video	7	Green video ground	12	Data （SDA）
3	Blue video	8	Blue video ground	13	H.Sync
4	NC*	9	NC*	14	V.Sync
5	Ground	10	Ground	15	Clock （SCL）

（NC*: No Connection）

● USB ポート



接点番号	信号名	備考
1	VCC	Cable power
2	- Data	Serial data
3	+ Data	Serial data
4	Ground	Cable Ground

5-5. 用語集

色温度

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K: ケルビン（Kelvin）で表します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。

5000K: やや赤みがかった白色
6500K: 昼光色と呼ばれる白色
9300K: やや青みがかった白色

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。本機の場合は横 1920 個、縦 1200 個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため、1920 × 1200 の解像度であれば、画像は画面いっぱい（1 対 1）に表示されます。

ガンマ

一般に、モニターは入力信号のレベルに対して非直線的に輝度が変化していきます。これをガンマ特性と呼んでいます。画面はガンマ値が低いとコントラストが弱く、ガンマ値が高いとコントラストが強くなります。

クロック

アナログ入力方式のモニターにおいて、アナログ入力信号をデジタル信号に変換して画像を表示する際に、使用しているグラフィクスシステムのドットクロックと同じ周波数のクロックを再生する必要があります。このクロックの値を調整することをクロック調整といい、クロックの値が正常でない場合は画面上に縦縞が現れます。

ゲイン

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラーフィルターに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の３原色であり、画面上に表示されるすべての色は３色の組み合わせによって構成されます。３色のフィルターに通す光の強さ（量）をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

フェーズ

アナログ入力信号をデジタル信号に変換する際のサンプリングタイミングのことです。このタイミングを調整することをフェーズ調整といいます。クロックを正しく調整した後でフェーズ調整をおこなうことをおすすめします。

レンジ調整

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調を表示できるように調整します。カラー調整をおこなう前にはレンジ調整をおこなうことをおすすめします。

DVI（Digital Visual Interface）

デジタルインターフェース規格の一つです。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに伝送できます。伝送方式に TMDS、コネクタに DVI コネクタを採用しています。デジタル入力のみ対応の DVI-D コネクタと、デジタル / アナログ入力可能な DVI-I コネクタがあります。

DVI DMPM (DVI Digital Monitor Power Management)

デジタルインターフェースの節電機能のことです。モニターのパワー状態については Monitor ON（オペレーションモード）と Active Off（節電モード）が必須となっています。

HDCP (High-bandwidth Digital Contents Protection）

映像や音楽などのデジタルコンテンツの保護を目的に開発された、信号の暗号化方式。
DVI 端子を経由して送信されるデジタルコンテンツを出力側で暗号化し入力側で復号化することによりコンテンツを安全に伝送できます。出力側と入力側の双方の機器が HDCP 対応していないと、コンテンツを再生できない仕組みになっています。

SDI (Serial Digital Interface)

SMPTE および ARIB 規格で規定されたインターフェース規格の一つです。1 本のケーブルで画像信号、同期信号、クロック、音声信号を伝送します。

sRGB (Standard RGB)

周辺機器間（モニター、プリンター、デジカメ、スキャナーなど）の「色再現性、色空間」を統一する目的で成立した国際基準のことです。インターネット用の簡易的な色合わせの手段として、インターネットの送り手と受け手の色を近い色で表現できます。

TMDS (Transition Minimized Differential Signaling)

デジタルインターフェースにおける、信号伝送方式の一つです。

VESA DPMS
(Video Electronics Standards Association - Display Power Management Signaling)

VESA では、コンピュータ用モニターの省エネルギー化を実現するため、コンピュータ（グラフィックスボード）側からの信号の標準化をおこなっています。DPMS はコンピュータとモニター間の信号の状態について定義しています。

第 6 章 プリセットタイミング

●工場出荷時に設定されているビデオタイミングは以下のとおりです（アナログ信号のみ）。

注意点

- 接続されるコンピュータの種類により表示位置等がずれ、調整メニューで画面の調整が必要になる場合があります。
- 一覧表に記載されている以外の信号を入力した場合は、調整メニューで画面の調整をおこなってください。ただし、調整をおこなっても画面を正しく表示できない場合があります。
- インターレースの信号は、調整メニューで調整をおこなっても画面を正しく表示することができません。

表示モード	ドット クロック		周波数 水平：kHz 垂直：Hz	極性
VGA 640 × 480@60Hz	28.3MHz	水平	31.47	負
		垂直	59.94	負
VGA TEXT 720 × 400@70Hz	28.3 MHz	水平	31.47	負
		垂直	70.09	正
VESA 800 × 600@60Hz	40.0 MHz	水平	37.88	正
		垂直	60.32	正
VESA 1024 × 768@60Hz	65.0 MHz	水平	48.36	負
		垂直	60.00	負
VESA 1280 × 960@60Hz	108.0 MHz	水平	60.00	正
		垂直	60.00	正
VESA 1280 × 1024@60Hz	108.0 MHz	水平	63.98	正
		垂直	60.02	正
VESA 1600 × 1200@60Hz	162.0MHz	水平	75.00	正
		垂直	60.00	正
VESA CVT 1680 × 1050 @ 60Hz	146.3 MHz	水平	65.29	負
		垂直	59.95	正
VESA CVT 1920 × 1200 @ 60Hz	154.00MHz	水平	74.04	正
		垂直	59.95	負

アフターサービス

本製品のサポートに関してご不明な場合は、エイゾーサポートにお問い合わせください。エイゾーサポート一覧は別紙の「お客様ご相談窓口のご案内」に記載してあります。

保証書について

- この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行致しませんので、大切に保管してください。
- 当社では、この製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の製造終了後、最低 7 年間保有しています。補修用部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、エイゾーサポートにご相談ください。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中の場合
  保証書の規定にしたがい、エイゾーサポートにて修理をさせていただきます。お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご連絡ください。
- 保証期間を過ぎている場合
  お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前・ご連絡先の住所・電話番号 /FAX 番号
- お買い上げ年月日・販売店名
- モデル名・製造番号（製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている８けたの番号です。例）S/N 12345678）
- 使用環境（コンピュータ / グラフィックスボード /OS・システムのバージョン / 表示解像度等）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

修理について

- 修理の際に当社の品質基準に達した再生部品を使用することがありますのであらかじめご了承ください。

廃棄およびリサイクルについて

本製品ご使用後の廃棄は、下記回収・リサイクルシステムにお出しください。なお、詳しい情報については、当社のホームページもあわせてご覧ください。（http://www.eizo.co.jp）

法人のお客様

本製品は、法人のお客様が使用後産業廃棄物として廃棄される場合、お客様の費用負担でお引取りいたします。詳細については下記までお問い合わせください。

［エイゾーサポートネットワーク株式会社］

電話での問合せ受付	FAX での問合せ受付
076-274-7369（専用）	076-274-2416
月曜日～金曜日 （祝日及び当社休日を除く） 9：30 ～ 17：30	24 時間受付 但し、回答は営業時間帯 （電話受付時間帯と同じ）

個人のお客様

本製品をご購入された個人のお客様は、同梱の「PC リサイクルマーク申込のご案内」を参照して、PC リサイクルマークをご請求ください。
マークは本体背面部のラベルの近くに貼付ください。

［情報機器リサイクルセンター］

電話での問合せ受付	インターネットでの問合せ受付
03-3455-6107	http://www.pc-eco.jp



株式会社ナナオ
〒924-8566　石川県白山市下柏野町 153 番地
http://www.eizo.co.jp

第 2 版　2009 年 8 月
03V22517B2
(U.M-CG232W)